

十一月十四日

一、午前一時左記聯隊命令ヲ受ク

歩六六作命甲第十六號

歩兵第百十六聯隊命令

十一月十四日 午前一時
於廣陳鎮北方五百米 聯隊本部

一、廣陳鎮北方五百米東側陣地へ迫撃砲若干機関銃二重機関銃約三有スル
歩兵約二百名ニテ其陣地ニ相當強固ナリ

二、聯隊(第一第三大隊(第一中隊ニハ隊欠)重機関銃及聯隊機関銃及聯隊砲
中隊欠)ハ一時攻撃ヲ中止シ現在地線ヨリ約五百米ノ距離ニ後退シ該敵對
シ警戒スルト共ニ爾後ノ行動ヲ準備セントス 我左第一線野澤隊ハ四里橋
ヲ奪取シタルコト確實ナルモ其後ノ狀況不明ナリ

三、第一線大隊ハ現地ニ於テ指示シタル區域ニ午前六時迄第一線ヲ後退シ四周ニ對シ
警戒スルト共ニ依然敵陣地ヲ搜索スヘシ陣地前有力ナル敵警戒部隊ヲ配
置スヘシ

四、通信班ハ第一線後退ト共ニ通信網ヲ撤去シ新ニ午前六時迄ニ聯隊本部

間ニ有線通信ヲ架設スヘシ

五軍演護衛中隊ハ先ツ新聯隊本部四周ノ警戒配置ヲナシ軍旗ト共午前

六時新聯隊本部ニ至ルヘシ

六増井少尉外一隊ハ旅團司令部連絡將校トナリ午前四時十分本部位

置ヲ出發旅團ノ連絡ニ任スヘシ

七第一大隊長陸軍少尉方面轉達ノ目的ヲ以テ連絡復察將校ヲ出シ可

速ニ報告スヘシ

八余ハ午前六時現在地出發後ハ五百米新聯隊本部ニ至ル

命令受領者ヲ出スヘシ

聯隊長 山田中佐

下達法 要旨ヲ第一大隊長ニ電話ヲ以テ第四中隊長通信班長

増井少尉ニ口達シ爾後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

二右聯隊命令、基キ左記大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十四日午前二時。分
於廣陳鎮東北方四〇〇米 大隊本部

一、廣陳鎮東北側敵陣地ハ迫撃砲若干重機銃數挺ヲ有スル歩
兵約二百名ニテ其陣地ハ相當堅固ナリ聯隊(第二第三大隊(第九
第十第十一中隊、示隊欠)附々附々RA欠)ハ一時攻撃ヲ中止シ該
敵ニ對シ警戒スルト共爾後行動ヲ準備ス我左第一線野澤隊ハ四里
橋ヲ奪取シタルコト確實ナルモ其後、狀況不明ナリ

二、大隊(第二第四中隊、示隊欠)附々附々RA欠)ハ廣陳鎮西北方八百米ノ線
ニ午前六時マテニ轉進シ四周、敵ニ對シ警戒スルト共爾後、行動
ヲ準備スルト共依然敵情、搜索ヲ續行セントス

三、各隊(附々附々)ハ將校、指揮スル若干令隊ヲ殘置シ午前五時三十
分現在地ヲ撤去シ先ッ現聯隊本部位置ニ集結スヘシ

四、殘置部隊ハ企圖、秘匿ニ努メ午前六時其、位置ヲ撤去シ大隊
ニ追及スヘシ

五、第三中隊長ハ一小隊ヲ以テ廣陳鎮東北方七〇米一軒廣陳鎮
ノ敵ニ對シ警戒セシムヘシ

六、増井少尉ハ分隊ヲ率ヒ旅團司令部運送將校トナリ午前
四時聯隊本部位置ヨリ出發旅團司令部ト連絡ニ往スヘシ
七、増岡少尉ハ一々分隊（高久軍曹ヲ附ス）ヲ率ヒ聯隊陸字圩方
面ニ轉進ノ目的ヲ以テ午三時出發四里橋西側地外ヲ經テ
陸字圩ニ至ル進路ヲ偵察スヘシ
但シ高久軍曹ハ四里橋附近ヨリ歸還シ先ツ四里橋ニテノ
進路ニ該地附近ノ状況ヲ報告スヘシ
ハ、余ハ第三中隊ト共ニ行動ス

第一大隊長 一川少佐

下達法

各隊命令受領者ノ庄ホノ口達筆記セシム

三、各隊ハ著々所名通り準備實施ニ移ル細部ニ関シテハ注意
大尉大隊副官ヲシテ指導セシム然ルニ濃雲ガ爲拂曉ニ至ル迄
望ヲ許サズ兵力移動ハ全ク企圖ヲ放棄シ併タリ機手午前

六時五十分所命ノ地点ニ終結シ終ル同地ニ於テニ食分ノ炊事ヲナシ
シメ朝食セシメ且（若干ノ米ヲ現地ニ於テ徵發調味品ハ石塩）約
一時間ノ假眠ヲ許ス

四 午前十時五十分左記聯隊命令ヲ受ク

歩立ニ作命甲第十五號

歩兵第百十六聯隊命令

十一月十四日、午前十時三十分
於廣陳鎮其方々ノ米聯隊本部

一、廣陳鎮ノ敵ハ本早朝海軍機ニ依リ相當打撃ヲ受ケル

モノ、如シ旅團主力ハ敵ヲ掃蕩シツ、吉字圩附近ニ到着ス

二、聯隊（編組如シ）ハ正午出發連ニ廣陳鎮附近ノ敵ヲ掃

蕩シ、廣陳鎮——吉字圩道

ヲ吉字圩東側地區ニ向ヒ急進セントス

三、第一大隊長ハ大隊長ノ指揮スル（准尉曹長ニテ可）一ノ隊ヲ以

テ患者輸送ニ任セシメ四里橋ニ於テ第八中隊下士官以下

八名ヲ護衛兵トシテ新倉鎮ニ向ヒ船送セシメ同隊以下

一分隊ハ陸字圩及其西方ニ前進シ野澤部隊ト連絡シ該
部隊長ヲシテ左側支隊ト連絡セシメタル後同隊ヲ吉字
聯隊本部ニ誘導スヘシ旅團爾後前進ハ本ヲ泉港ヲ
經テ其西方三千大クリークノ橋梁ニ向ヒ前進スル旨
四 第一大隊(編組エ如シ)ハ前衛トナリ廣陳鎮ノ敵ヲ掃蕩シ

ツ、聯隊ノ前進路ヲ前進マヘシ
爾余ノ諸隊ハ本隊トナリ前衛後方ニミ。米ヲ辰隨マヘシ
其ノ行進序列ハ別ニ指シス

五 余ハ正午出發本隊ノ先頭ニアリテ行進ス

步兵第一十六聯隊長 山田中佐

下達法

命令受領者ニ口達筆記セシメ野澤部隊ニ筆記

携行セシム

五 右聯隊命令ニ基キ左記大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十四日午前十一時十分
於廣陳鎮北の方へ。米大隊本部

一 聯隊へ廣陳鎮附近ノ敵ヲ掃蕩シ吉字圩ニ向ヒ前進ス

二 大隊(編組へえ如シ)ハ前衛トナリ正午現在地ヲ出發廣陳鎮附

近ノ敵ヲ掃蕩シ吉字圩ニ向ヒ前進セントス

三 第三中隊(三小隊欠)ハ突兵トナリ廣陳鎮ヲ經テ本隊ノ前ノ

五百米ヲ吉字圩ニ向ヒ前進スヘシ

四 爾余ハ本隊トナリ³3³の^(向)順序ニ續行スヘシ

五 渡辺小隊ハ依然現地ニアリテ大隊ノ前進ヲ援護ミタル後中隊

長ノ指揮下ニ復歸スヘシ

六 第一中隊ヨリテ分隊(小林分隊)ヲ現在地ニ殘置シ第三中隊

高久小隊及増淵將校小隊ヲ誘導シ廣陳鎮ヲ經テ吉

字圩ニ前進スル大隊ニ追及スヘシ

七 川越准尉ハ一ヶ分隊ヲ指揮シ患者ヲ護送シ四里橋ニ至リ

第八中隊ニ齊藤伍長以下八名ヲ護衛兵ト附シ舟ヲ以テ

新倉鎮ニ輸送セシメタル後陸宇圩若クハ其ノ西方ニ前進シ同地附近ニアル野澤部隊ニ連絡シ之ヲ古字圩附近ニ前進スル聯隊ノ位置ニ誘導スヘシ尚ホ野澤部隊ヲミテ左側支隊ニ連絡ヲトラシムヘシ

ハ余ハ前進後前衛本隊ノ先頭ニマリテ行進ス

第一大隊長 一 刈 少 佐

下達法

命令受領者ヲ集メノ下達筆記セシム

六 當時我々軍ハ敵ヲ包圍ノ態勢カニアレト兵カ分散シアリ地形錯雜セル爲相互ノ連絡困難且ツ地形平坦ニシテ部落散在シ展望ヲ許サズ敵ノ情勢ヲ視察スハ至難ノ情況ニアリ本情況ノ下ニ川越准尉出發シ小隊伍長ハ現在地ニ殘留ス

七 午後零時豫定ノ如ク出發敵情地形ヲ搜索シテ前進中(午後一時十分連絡恢復セル増井少尉帰還シ確實ニ連絡シ

得タルゴト判明セリ）旅團ヨリ管少尉連絡ノタメ来リ聯隊
ヲ旅團主力ノ位置ニ誘導ス聯隊ハ進路ヲ変更シ西方ニ
轉進ス途中各部落ニハ敵兵散在シ或ハ屋上ヨリ或ハ竹林ヨリ
頻リ狙撃ヲナセリ當時旅團豫備隊アリシ（第^四大隊）ハ
附近部落ヲ掃蕩中ニシテ各所部落ニ火災ノ起キルヲ見ル又
海軍機ハ始終地上部隊ニ連絡シ盛ニ爆撃ヲ敢行セリ又前
進中^四大隊友軍相撃ノ虞アリシヲ以テ各隊ニ曰ク高ク
掲ケシメコノ害ヲ除キ市ニ入ル
在四里橋野澤部隊ニ連絡ノ爲ニ進セル高久軍曹ハ單身
曰ク丸ヲ掲ケテ^四大隊ノ掃蕩中ナル地域ヲ馳驅シクリークヲ渡渉
シツ午後二時三十分歸還セリ同軍曹ハ野澤部隊ニ連
絡シ得タルモ該隊ハ悪路ノタメ前進困難ナル情況ニアルコト
ヲ報告ス（車輛ハ一切通セス）又野澤部隊方面ノ戦況ヲ目撃
シ又第四中隊大負少尉戦死ノ状況ヲ具ニ報告ス

八、進路ハ依然クリークニ阻ムレ迂回ノ爲相當ノ時刻ヲ空費セリ
午後三時廣陳鎮西北方約千五百米大クリーク渡河中旅團
副官末リ一時前進停止スヘキヲ傳ヘ部落ハ河畔・警戒部隊
ヲ配シテ待機ス其ノ間敵ハ部隊ハ盛シニ出沒射撃セリ
●午後、日射ハ暑ク上陸以來不眠不休ノ將兵ノ
假眠セル顔面ニ無数ノ蠅ノ集ルヲ見ル
九、午後五時三十分クリーク方面ニ於テ左記聯隊命令ヲ
受領ス

歩六六作命甲第十八號

歩兵第六十六聯隊命令

十一月十四日午後五時三十分
於廣陳鎮西北方約千五百米 聯隊本部

一、廣陳鎮ハ末ク奪取スルニ至ラハ旅團ハ今ヨリ廣陳鎮ニ接近シ

明拂曉ニ於ケル攻撃ヲ準備ス

二、聯隊(左側支隊第十一中隊第十一中隊第二大隊支)後備山砲

第十二中隊及聯隊砲中隊ハ其ノ指揮ニ屬ス但シ山砲聯隊砲

ハ到着シアラスハ廣陳鎮北方地區ヲ攻撃シ得ル如ク明拂
曉ノ攻敵手ヲ準備セントス其ノ右第一線タル第百ニ聯隊ハ現在
地出發廣陳鎮西側^地區ニ前近シ大クリーク西方地區明拂
曉攻敵手ヲ準備ス

三、第三大隊ハ(第九第十一小隊第十一機関銃隊^又)聯隊機
関銃隊(三隊^又)及工兵一小隊ヲ屬スハ右第一線トナリ廣陳
鎮西北方^ノ流ル^ハ大クリーク^ノ右岸トシ十五日午前六時半迄
ニ廣陳鎮北方五百米ノ線ニ攻敵手ヲ準備スヘシ

四、第一大隊(第二第四中隊機関銃^又及聯隊機関銃三小隊
工兵一小隊^又ノ屬ス右第一線トナリ第三大隊ニ連繫シ明十五
日午前六時半迄ニ廣陳鎮北方五百米ノ東西ノ線ニ攻敵手ヲ
準備スヘシ

五、各隊ハ特ニ天明中敵情地形ヲ偵察シ準備ヲ周到ニスヘシ
六、各隊ハ攻敵手ヲ準備完了^ルハ報告スヘシ攻敵手ヲ準備前進時

期ハ追テ示ス

七、第四中隊（三小隊又）ハ豫備隊トナリ午前五時半迄聯隊本部前ニ集合シ軍旗ト共ニ第三大隊右翼後方五百米ノ線ニ位置スヘシ

八、通信班ハ右第一線タル第三大隊ト聯隊本部間ニ午七時半ニ有線ヲ架設スヘシ

九、余ハ午六時半豫備隊ノ位置ニ在リ同時命令受領者ヲ出スヘシ

聯隊長 山田 中佐

下達法

命令ノ要旨ヲ第一線隊長ニ口達シ爾後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

注意

各隊ハ渡河材料ヲ充分ニ準備スヘシ

右聯隊命令ニ基キ左記大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十四日午後五時四十分
於廣陳鎮西北方五百米ノ處大隊本部

一、廣陳鎮ハ末々奪取スルニ至ラス旅團ハ今ヨリ廣陳鎮ニ直接

シ明拂曉ニ於テ攻撃ヲ準備ス

聯隊（左側支隊第十一中隊第十一中隊第三大隊欠）後備山砲
第十二中隊及聯隊砲中隊ハ其指揮ニ屬ス（但シ山砲
聯隊砲ハ末々到着シアラス）ハ廣陳鎮北方地區ヲ攻撃シ
得ル如ク明拂曉ノ攻撃ヲ準備ス其右第一線タル第
百二聯隊ハ廣陳鎮西側地區ニ前進シ大クリーク西方地
區ニ明拂曉ノ攻撃ヲ準備スル筈又第三大隊ハ（第九
第十一中隊第十一中隊第十一中隊第十一中隊第十一中隊
（二小隊欠）及工兵一小隊ヲ屬ス）ハ右第一線トナリ廣陳鎮西
北方ニ流ルハ大クリークヲ右翼トシ十五日午前六時半マデニ
廣陳鎮西北方五百米ノ線ニ攻撃ヲ準備ス

二、大隊（第二、第四中隊機関銃ノミヲ欠キ聯隊機関銃ニ小隊エ兵一隊ヲ屬ス）ハ左第一線トナリ第三大隊連繫シ明十五日午前十一時半迄ニ廣陳鎮北方六百米東西ノ線ニ攻撃ヲ準備セントス

三、各隊ノ中隊長及所要ノ幹部ハ警戒戒兵ヲ伴ヒ地砂偵察ヲ爲スルノ許ニ集合スヘシ

四、大隊副官ハ左後方三百米無名村落ニ部隊ヲ誘導シ同時に集結警戒シアルヘシ

五、余ハ明拂曉攻撃地砂偵察ヲタメ各中隊長ト共ニ廣陳鎮北側ニ至リ後大隊集結地ニ至ル

第一中隊長 一川 少佐

下達法

各隊長ヲ集メテ口達シ後命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

一、大隊長ハ各隊長ハ候長要員及所要ノ護衛兵ヲ伴ヒ廣陳鎮北方六〇米地点ニ前進シ敵情地形ヲ偵察シテ現地ニ付明拂曉攻撃ノタメノ細部指示ヲナス此ノ間部隊ハ廣陳鎮西北方一五〇米無名部落ニ集結致言戒シ三食ノ炊事ヲナス部落住民ハ殆ント逃避シ僅カニ老人小供ヲ残セルノミナリ
土、日没時大隊長歸来ニ後七時。今左記聯隊命令ヲ受ク

歩兵第百十一聯隊命令 甲 第十一號

歩兵第百十一聯隊命令 於廣陳鎮西北方千五百米聯隊本部

一、聯隊ハ明十五拂曉攻撃ノ為宿營セントス

二、各隊ハ設營者ノ指示スル區域ニ村落露宿スヘシ

三、第一大隊長ハ配屬部隊（工兵隊ヲ除ク）ヲ以テ西方約二百

米下士哨ヲ配置シ又各隊宿營地四周ニ對シ直接致言配兵ヲ

配置スヘシ

四、第三大隊長ハ配屬部隊（工兵隊ヲ除ク）ヲ以テ配置シ又各隊

宿营地四周ニ對シ直接警戒兵ヲ配置スヘシ

五 第四中隊ハ聯隊本部ニ軍旗衛兵トシテ單哨ヲ配置スル外

聯隊本部ヲ含ム四周ニ對シ直接警戒兵ヲ配置スヘシ

六 工兵隊ハ東北方約二百米ニ下士哨ヲ又ハ直接警戒兵ヲ配置

スヘシ

七 各隊下士哨ノ配置ニ関シテハ相互密ニ連絡スヘシ又與旅團

東方ヨリ攻撃ヲ受ムニ聯隊ハ廣陳鎮西方近ク進出シアル間

係上敵ノ退路ハ聯隊方面ニアルヲ以テ嚴ニ警戒スヘシ

ハ給養食ハ現地物産ニ依ルヘシ

九 余ハ宿营地中央ニ在リ命令受領者ヲ出シ置クヘシ

聯隊長 山田中佐

下達法

命令受領者ヲ集メテ口達筆記セシム

注意

一、更水ナルヲ以テ元分ニ煮沸シ衛生ニ注意スヘシ

二、敵言戒兵下士哨ハ敵ノ狙撃ヲ受ケサル如ク元分姿勢執力ニ注

意シ地物ヲ利用スヘシ

三、合言言葉ハ依然官、常トス

十二、右聯隊命令、基ヲ元、大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令 十月十四日午後七時四十分
於廣陳鎮西北方一五〇。大隊本部

一、敵情ハ既知、通りナルモ敗残兵ハ村落ニ充滿シ住民ハ敵

意ヲ有シ武器、各所ニ隠匿シアリ

聯隊ハ明拂曉廣陳鎮攻撃ノ為、同地西北方千五百米

無名部落ニ位置シ敵情地形ヲ搜索シ攻撃ヲ準備ス

二、大隊(第二第四中隊)ハ一分隊ヲ屬ス(ハ現在地)

搜索シ明拂曉攻撃ヲ準備セントス

三、各隊ハ夫々當面ニ(細部ハ既ニ示シアリ)輕機ヲ有スル約十

名ノ下士哨ヲ配置スル外四周ヲ複哨ヲ配置シ嚴密警戒

スヘシ 敵ノ攻撃ニ降ニテ直ニ之ニ應シ得ル如ク
 小隊毎ニ一分隊ヲ待機セシムヘシ(本部附ヘ之ヲ准ス)
 四、各中隊ハ本タクリク偵察ノ結果ニ基キ所要渡河
 材料ヲ準備スヘシ
 五、余現在地ニ在リ命令受領者ヲ出シ置クヘシ
 第一大隊長 一川 少佐

下達法

命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

十三午後十時左記聯隊命令ヲ受ク

歩兵第六十六聯隊作命 甲第三十號

歩兵第六十六聯隊命令

十一月十四日午後十一時
 於廣陳鎮區方五百米聯隊本部

一、千葉部隊ハ歩兵三百迫撃砲三門ヲ有スル敵ト交戦中ナリ

二、聯隊ハ奥部隊ト協力シ廣陳鎮ノ敵ヲ攻撃セントス

三、第三大隊(編組元ノ如シ)ハ左第一線トナリ現宿營地ノ線

ニ展開シ攻撃ヲ準備スヘシ

四、第一大隊（編組現在ノ如シ）ハ左第一線トナリ現宿營地ノ線

ニ第三大隊ニ連繫シ攻撃ヲ準備スヘシ

五、第四中隊及工兵隊ハ豫備隊トシ現聯隊本部ノ位置ニ

集合スヘシ

六、通信班ハ第三大隊ト聯隊本部間ニ電話ヲ架設スヘシ

七、各隊ハ展開完了セバ前方ニ配置シアル下士頃ヲ引上ヘシ

八、第三大隊ハ背後ニ第一大隊ハ左翼ニ警戒兵ヲ配置ス

ヘシ

九、攻撃前進ノ時期ハ追テ示ス展開完了セバ報告スヘシ

十、余ハ現在地ニ在リ命令受領者ヲ出シ置クヘシ

聯隊長 山田中佐

下達法

筆記命令ヲ各大隊副官ニ交付ス

土右聯隊命令ニ基キ左記大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十四日午後十一時三十分
於廣陳鎮西ノ方五百米大隊本部

一、千葉部隊ハ歩兵三百迫撃砲三門ヲ有スル敵ト交戦

中ナリ 聯隊ハ奥部隊ト協力シ廣陳鎮ノ敵ヲ攻

撃ス第三大隊 (編組元ノ如シ) ハ右第一線トナリ現露營

地第一大隊ノ線ニ展開シ攻撃ヲ準備スルヲ右

二、大隊 (編組元ノ如シ) ハ左第一線トナリ直ニ現露營地線

ニ攻撃ヲ準備セントス

三、第一中隊ハ右第一線右ハ第三大隊ニ連繫シ前ノ部落

ノ右端ヲ右翼トシ攻撃ヲ準備スヘシ 第三中隊ハ一兵

一分隊ヲ附ス) 左第一線右第一中隊ニ連繫シ左翼ヲ後退

セル同一線上ニ攻撃ヲ準備スヘシ

附シハ第一第三中隊ノ中間地區ニ又附シハ第三中隊

ノ左翼ニ連繫スル如ク攻撃ヲ準備スヘシ

各隊ハ攻撃準備完了セハ速ニ報告スヘシ
四 隊備隊トシテ第一第三中隊ヨリ各ハ銃ニテ分隊ヲ出シ
先ツ先任者ノ指揮ヨリ左翼後ニ位置スヘシ
五 各隊ノ戦闘地境ハ現地ニ於テ指示ス
六 余ハ第三中隊ノ後方ヲ前進ス

第一大隊長 一川少佐

下達法

各隊長ヲ集メ要旨ヲ傳ヘタル後命令受領者ヲ

集メ口達筆記セシム

十一月十五日

一大隊八午前零時三十分所命ノ通り展開ヲ終リ待機ス

此ノ頃敵流彈頻リニ飛來セリ、午前六時三十分當面ノクリークニ架橋シツ、攻撃ヲ前進ニ移リ約五百米前進セル後拂曉トナリ一時停止更ニ敵情地形ノ搜索ヲナス

二午前九時十六分左記聯隊命令ヲ受ク

歩兵第六十六聯隊命令甲第二十一号

歩兵第六十六聯隊命令

十一月十五日午前九時十六分
於廣陳鎮西北方千米聯隊本部

一廣陳鎮ヲ北進シテ我ニ對シ敵ハ昨夜來ノ攻撃ニ依リ相當ノ損害アルモノ、如シ師團ハ敵ノ左側ヲ迂回シ神速ニ嘉興ノ南方地區ニ向ヒ進出ス

秋山旅團ハ吉字杆ニ位置シ姚家林以北ノ地區ニ於テ西方ニ進出スル目的ヲ以テ敵狀並ニ前進路ヲ偵察スル筈

二聯隊ハ陸海飛行機ニ爆撃ヲ要求シ攻撃ヲ中止暫ク現態

勢ノマ、敵ノ逃走兵ニ對セ、爾後宿營地ニ集結レ概不正
午旅團集結地ニ轉進セントス

三、各隊ハ現態勢ノ儘攻撃ヲ中止レ警戒ヲ嚴シテ敵逃走
兵ニ對スヘレ集結ノ時期ハ追テ示ス

四、工兵隊ハ爾今余ノ直轄トス渡河点附近ニ在ル工兵中隊長
ノ指揮ニ入ラレムヘレ

工兵中隊長ハ速ニ渡河点附近ニ舟艇渡河ノ準備ヲ正
午迄ニ完了スヘレ

五、通信班ハ直ニ通信網ヲ徹去シ各大隊本部ハ聯隊本部
ニ於ケル日章旗ノ上下ヲ以テ徹去ト心得マヘレ

六、余ハ現在地ニ在リ

聯隊長

山田中佐

下達法

要旨ヲ電信及電話ヲ以テ下達シタル後命令受領者ヲ集メ、四達筆記セム

三、右命令ニ基キ左記大隊命令ヲ下達ス

第一大隊命令

十一月十五日午前九時五十分
於廣陳鎮西北方ルン米大隊本部

一、廣陳鎮ヲ北進シ我ニ對セシ敵ハ昨夜來ノ攻撃ニ依リ

相當ノ損害ヲ蒙リタルモノ、如シ

師團ハ敵ノ左側ヲ迂回シ神速ニ嘉興南方地區ニ

向ヒ進出ス

秋山旅團ハ吉字圩ニ位置シ姚家村以北ノ地區ニ於

テ西方ニ進出スル目的ヲ以テ敵情並ニ前進路ヲ偵察ス

聯隊ハ陸海飛行機ニ爆撃ヲ要求シ攻撃ヲ中止暫

ク現態勢ノマ、敵ノ進退兵ニ對應シ他ハ露營地集

結概ネ正午旅團集結地ニ轉進ス

二、大隊ハ暫ク現態勢ニ在テ敵敗殘兵ヲ監視シ後露營

地ニ集結轉進ヲ準備セントス

三、各隊ハ現在ノ位置ニ約一分隊ノ兵力ヲ以テ敵情ヲ監視

レ残余ハ其ノ後方ニ兵力ヲ集結スヘシ

露營地ヘ帰還ノ時機ハ別ニ示ス

四、余ハ暫ク現在地ニアリ後宿營地ニ至ル

第一大隊長 一 川 少佐

下達法令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

四、大隊ハ概ネ十一時頃兵力ヲ集結シ残余置セル北首濃等
ヲ整理シ轉進ノ準備ヲナス

五、午前十一時三十分左記聯隊命令ヲ受ク

歩兵第六十六聯隊作命甲第二十二號

歩兵第六十六聯隊命令

十一月十五日午前十一時三十分
於廣陳鎮西北方二十五百米聯隊本部

一、頑強ナル廣陳鎮ノ敵ハ昨夜來ノ我カ攻撃及陸海軍

飛行機ノ旺盛ナル爆撃ニ依リ殆ト潰滅セラレ其ノ一部

ハ舟ニ依リ廣福橋東面ニ退却セルモノ、如シ

二、聯隊(編組)如シハ師團ノ企圖ニ基キ獨斷ヲ以テ

速ニ在吉字圩旅團主力ニ合スル目的ヲ以テ吉字圩ニ轉
進セントス

三、第三大隊(編組同ノ如シ)ハ前衛トナリ正午出發廣陳鎮
北方クリーク約千米附近ノ渡船場ヲ經テ吉字圩ニ向ヒ
前進スヘシ

四、爾余ノ諸隊ハ本隊トナリ左ノ行軍序列ニ基キ前衛後方
二百米ヲ續行スヘシ

通信班聯隊本部第四中隊ノ一小隊軍旗第四中隊ノ主
力第一大隊(編組同ノ如シ)

五、各隊ハ渡船場渡河ニ関シ工兵中隊長ト連絡スヘシ

六、工兵中隊ハ諸隊通過後同地ニ在リテ待機スヘシ

七、余ハ本隊ノ先頭ニ在リ

聯隊長

山田中佐

下達法

要旨ヲ各隊長ニ口達シ爾後命令受領者ニ口達筆記セシム

六、右聯隊命令ニ依リ左記行軍序列ニ入り零時十分在吉寧
杆旅團主力ニ合スル目的ヲ以テ廣陳地方約十米クリーク
附近渡船場ヲ經テ吉寧杆ニ向ヒ前進ス

前衛——四(編組)如シ——200——五百(約)イ

途上クリークニ阻ムレ迂回セシ、午後四時三十分吉寧杆ニ到
達ス、民家ハ焼カレモ、多ク宿營ニ支障多シ

又途中到ル處ニトーチカ(コンクリート)製ニテ厚サ四〇糎銃眼
ヲ設テ堅固ナルモノヲ認ム

七、午後五時零分左記聯隊命令ヲ受ク

歩六六作命甲第二十三聯

步兵第六十六聯隊命令

十一月十五日午後五時〇分
於吉寧杆聯隊本部

一、敵ハ李家港東側クリーク南北ノ線ニ步兵約一大隊ノ陣
地アルモノ如シ

二聯隊ハ本夜吉字坪附近ニ宿營シ明早朝出發ノ爲
進路偵察ヲナントス、歩兵第百ニ聯隊ハ宿營地
西北側ニ宿營シアリ

三各隊(配屬元ノ如シ)ハ林少佐ノ指示スル區域ニ村落
露營スヘシ

四各隊ハ主トシテ北方及東方ニ對シ陣地ヲ構築シ陣地
前近距離ニ下士哨ヲ配置シ宿營地四圍ニ對シ直接
警戒ヲナスヘシ

五給與ハ現地物資ニヨルヘシ

六余ハ吉字坪聯隊本部ニ在リ命令受領者ヲ出シ置ケ
ヘシ

第三大隊ヨリ小隊ノ將校并候ヲ即刻余ノ下ニ出スヘシ

聯隊長 山田中佐

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

ハ右聯隊命令ニ依リ左記大隊命令ヲ下達ス

大隊命令

十一月十五日午後五時三十分
吉字村大隊本部

一敵ハ李家港東側クリーク南北ノ線ニ歩兵約一大隊ノ陣地

アリモハ、如シ

聯隊ハ本夜吉字村附近ニ宿營シ明早朝前進ノ爲進路

ヲ偵察ス

歩兵百ニ聯隊ハ聯隊宿營地西北側ニ宿營ス

ニ大隊(第二隊)四ING₂欠RMG₂配置シハ現在地附近ニ宿營ス

シトス

ニ各隊ハ別紙要圖ノ如ク村落露宿營スヘシ

各隊ハ主トシテ北方及東方ニ對シ陣地ヲ構築シ陣地

前並距離ニ下士哨ヲ配置シ四周ニ對シ直接警戒ヲ

行ハヘシ

四住民ハ監視シ監視兵ヲ附シ置クヘシ

近接部落掃討隊、爲各口隊より各々下士官以下七名作候
ヲ直チニ大隊本部ニ出スヘシ

五給養ハ現地物資ニ依ルヘシ

六余ハ吉字圩大隊本部ニ在リ

第一大隊長

一川少佐

下達法、命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

九附近部落民、大部分ハ逃亡セルモ残存セルモノ四十名ハ室ニ監
禁シ監視兵ヲ附セリ

夕刻ヨリ、雨ハ次第ニ猛烈トナル

十午後十時五分左記聯隊命令ヲ受テ

歩兵第六十六聯隊作命甲第二十四聯

歩兵第六十六聯隊命令

十一月十五日午後十時五分
於吉字圩聯隊本部

一敵狀ハ諸官、知ル通り

二師團ハ平湖北方敵陣地、左翼ヲ迂回シテ神速ニ嘉興

東南方ニ進出ス。奧旅團ハ紅廟頭方向ニ前進ス。
旅團ハ師團後方ニアル諸隊ヲ集結セタル後、奧旅團後方

ヲ追及セントス

聯隊第一第二第四中隊ノ二小隊機關銃ヲ第三大隊第九
第十一小隊第三中隊第三機關銃步兵砲隊聯隊砲中
隊其他若干ヨクハ左ノ任務ニ服シ依然吉字圩ニ在リ
爾後ノ前進ヲ準備セントス

ノ第一大隊長ハ中隊長ノ指揮スル歩兵一小隊以上(輕裝
ニ食携行)ヲ以テ廣陣鎮(含シ北側地區ヨリ西里橋西
側地區ニシテ後備山砲中隊ハ師團ニ追及兩聯隊混成
ノ聯隊砲中隊ハ新倉鎮ニ後退聯隊 步兵砲隊ハ
聯隊ノ位置ニ誘迫工兵二小隊(内一小隊ハ聯隊砲中隊ニ
配屬他ノ一小隊ハ歩兵第六十六聯隊ニ配屬シテアリシモノ)
ハ聯隊ノ位置ニ搜索誘導スルモノトス

第三大隊長ハ中隊長ノ指揮スル歩兵一小隊以上(輕裝ニ食携行)ヲ長ニ出發前指示スルニ付函中隊長ハ午前六時聯隊本部ニ至ルモノトス

又近藤中尉ノ指揮スル挺進隊收容ノ爲第三大隊長ハ將校ノ指揮スルニケ分隊ヲ以テ午前七時宿營地出發廣陳鎮西方千五百米ヲリーク交叉点ニ至リ監視部隊トナリ午後六時三十分迄ニ宿營地ニ歸還スルモノトス該將校ハ午前六時聯隊本部ニ至ルヘシ

歩兵百々ニ聯隊ハ歩兵一中隊機關銃一小隊ヲ以テ周家圩鎮(廣陳鎮南方一里)ニ至ル部隊ノ誘導ニ任スル筈

工兵中隊(一小隊)ハ廣陳鎮西北方十米ノ渡河点確保及交通ニ任スル筈

爾後ノ諸隊ハ現在地ニ在リテ兵器ノ手入彈藥糧秣ノ整理人員ノ調査其他出發準備ヲナシ其ノ情況ヲ報告

スヘレ

三軍旗中隊タル第四中隊ヲ中隊長ノ指揮スル第三中隊ノ一小隊ト搜索間任務ノ交代ヲ行フヘシ

四余ハ依然現在地ニ在リ

聯隊長

山田中佐

下達法、命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

注意

一宿營地歸^還時刻ニ遵レサルコト

二挺進隊ハ一本ノ旗竿ニ四ツノ國旗ヲ附ケテリ

三搜索ニハ眼鏡ト喇叭及或ハ可ルヘク多クノ國旗ヲ使用スルコト

十右聯隊命令ニ基キ左記大隊命令ヲ下達シ爾後ニ於ケル前進ヲ準備ス

第一大隊命令

十一月十五日午後十一時零分
於吉野ノ大原ニ於テ

一敵情並聯隊ノ企圖ハ別紙歩六六作命令中隊分二十四號ノ如シ

二大隊(2、4、3) IMG 2、4 RMG 2 配屬) 及(台)ハ依然吉字圩ニアリテ
前進ヲ準備セントス

三、第四中隊長ハ部下一小隊(輕裝ニ食分携行)ヲ卒ヒ廣陳
鎮(含)北側地區ヨリ四里橋西側地區ニ出テ左記部隊ヲ
聯隊ノ位置ニ搜索誘導スルヲ期十六日午前六時聯
隊本部ニ至リ聯隊長ノ指示ヲ受クヘシ

左記

(聯隊命令ノ如シ)

四、晝間ノ警戒ヲ爲左ノ如ク下士哨及展望哨ヲ配置スヘシ

宿營地

東南側地區

第三中隊

宿營地

西北側地區

第十一中隊

MGハ右ニ準レ宿舍直接ノ警戒ヲナスヘシ

五、爾余ノ諸隊ハ現在地ニ在リテ兵器ノ手入彈藥糧秣ノ整
理人員ノ調査其ノ他出發ノ準備ヲナシ其ノ情況ヲ報告

七

1764

スヘレ

特ニ既往ノ戦闘ニ鑑ミ戦闘法ヲ部下一般ニ教育スヘレ
六、余ハ依然現在地ニアリ

第一大隊長

一 川 少 佐

下達法、命令受領者ヲ集メ口達筆記セシム

1765

本戰鬪間死傷者左ノ如シ				步六六第一大隊			
隊號	戰死	重傷	輕傷	本部	第一中隊	第二中隊	第三中隊
						歩伍 和氣延男	
							歩一 松塚新衛 大森正雄 関口雄次郎
							歩少尉 古口英男
				歩伍 谷中作一	歩伍 須見重與志	歩一 菊地清勝	
				一、第二中隊八十二日ノ分ニテ計上ス			
				考 備			

1766

本戦闘間特ニ功績顯著ナル者

第三中隊

介候長 小川伍長

十月十三日廣陳鎮東北側敵陣地攻撃ニ於テ介候長トシテ敵中ニ潜入シ敵情ヲ明シシ中隊ノ戦闘指揮ヲ容易ナラシメタリ

傳令 神山一等兵

十月十三日廣陳鎮東北側ノ敵陣地攻撃ニ於テ中隊長傳令トシテ東奔西走連絡ニ努メ中隊ノ戦闘ヲ有利ニ展開セシメタリ

第一機関銃中隊

十月十三日廣陳鎮東北側ノ敵陣地攻撃ニ於テ指揮班ニ屬シ中隊長傳令トシテ困難ナル情況中ヲ上下ノ連絡任シ中隊ノ戦闘ヲ容易ナラシメタリ

本部

谷中衛生伍長

十一月十三日、廣陳鎮東北地區、敵陣地攻撃ニ際シ第一線部隊Ⅲ、古口少尉、第三中隊、久保一等兵、敵弾ニ倒ル、ヤ伍長ハ敵弾ヲ潜リテ應急手当當リ、實施中自ラモ足部ニ受傷セラル、屈ス、附近ノクリーニテ舟ヲ捜シ求メ、獨力ニ後送セリ

1767-乙

参考事項

一 戦闘影響ヲ及ホセシ天候氣象及戦闘地状態其ノ他

ノ天候 晴一日曇一日雨二日ニシテ戦闘開始當日雨天ナリ

レタメ行動ニ大ナル影響ヲ受ケタリ

之氣象 晝夜ノ氣温ノ差甚シ晝間ハ行動セハ流汗ス夜間ハ

冬服ノミニテハ寒シ

又拂曉時ハ露ノタメ通視ノ利カサルコト多シ

二 戦闘地ノ状態

一 道路 戦闘行動地域ハ路中ハ一般ニ狭ク並道一米ニシテ

車輛ノ通過困難且ツ橋梁尠ク且ツ脆弱ナルモノ多シ

橋梁ハ板橋ヲ並通トシ時ニ石橋ヲ見ル

又クリークノ關係上迂回路多ク隣村ヲ目撃シレツ

四 料行程ヲ迂回セシコトアリ

土質ハ粘土質ニシテ雨降ラハ泥濘トナリ滑走シ歩行

極メテ困難トナリ杖ヲ用フルヲ便トス、又乾燥セハ路面現革固ス。

牛馬ノ使用ハ到ル處困難ナリ

(四) 地形 平坦地ニシテ水田多ク堆土(墓地多ク)点在シ(敵ハ之レヲ利用シトーチカヲ構築セルモ、多ク)部落点在シ大木ハ希シナルモ樹木多ク通視ヲ妨グ從ツテ敵陣地ハ不明瞭ナルヲ通常トシ目標ノ指示極メテ困難ナリ
又クリークハ縱横ニ通シ(大ナルハ中⁵⁰ニ及フ)行動著シク阻害サレタリ

地形敍上ノ如クニシテ敵ノ策動ヲ察知スルハ至難ニシテ之レヲ捕捉殲滅シニハ尠カラス時日ヲ要ス。

(ハ) 陣地、敵ハクリーク對岸或ハ村落ニ好シテ陣地ヲ構築シ必ス掩蔽退却路アリ

即チ地形地物ヲ利用シテノ陣地ノ構地ハ巧ナリ又家屋ハ

周圍ハ練瓦ヲ以テ建造シタルヲ以テ練瓦ヲ拔キ銃眼ヲ設ケ
之ニ據リ頑強ニ抵抗スル事アリテ目標ノ確認極メテ至難
トス

既設陣地ハ村落墓地堆土等ニ自然的ニ彼此據点ヲ
ナレセメント鐵板ヲ用ヒタルモノ多シ制壓困難ナル場合多シ
然レトモ攻者ニ於テモ戰場到ル處利用シテ接敵シ得ヘキ
地形地物アリ又乾田ハ行動シ得タリ

以上ノ如ク地形錯雜セルタメ重火器ハ優々位置ヲ移動シ
或ハ地形ヲ改修スルノ著意ヲ要トス

ハ其他

(4) 敵軍ノ裝備

敵ハ地方雜軍ナルモノト判斷セルモ機銃ハ相當多數ニ裝
備サレアリ服裝ハ一般ニ粗ニシテ鐵屑ヲ耐レルモノハ認メス
ハ敵軍ノ特性

防禦ハ勦強ナリ、遂ニ襲ハ彼等ノ常習手段タル威力偵察
ナラント判断ス、遂ニ接シテ乱射ハスレト突入スルコトナレ
夜間ノ行動ハ拙劣ニシテ、候等侵入レ来タル事アルモ容
易ニ捕獲シ得タリ、射撃ハ乱射ニ陥ルコト多シ

(ハ) 装備ニ就テ

車馬ハ使用シ得ス將兵携行品ハ過重ニシテ輕快ナル行重ヲ
ナシ得ス、MGハ全部臂力搬送ヲナセル處ニシテ、彈藥ノ携行ハ
最モ至難トセリ、背囊ハ全部上陸地ニ残置セリ、快速ナル行
動ヲナス場合彈藥ノ補充ハ困難ナリ

戦闘資料ノ搬送ハ大クリークニ沿フテ行動セハ毎ヲ利用
シ得

磁石ハ利用價值大ナリ

野砲ハ勿論歩兵砲ト虽モ協力シ得ス、重擲裝備ノ必要ヲ
痛感セリ

(二) 給養ニ就テ

主食ハ現地ニ於テ充分徴發レ得タリ上陸時七日分ヲ携行セルモ其ノ必要ナレ寧ロ彈藥ヲ更ニ携行セシムルヲ可トセリ調味品ハ塩味噌等充分ナラサリレモ收集レ得タリ牛豚鶏野菜ハ最初ノ時期ハ相當入手レ得タリ炊事ハ支那釜ヲ利用セシコト多ク又便ナリ宿營ノ際ニ於テ藁ハ充分ニ使用レ得タリ

(ホ) 其ノ他

戰場ニ於テ水牛、牛ヲ徴發使用セルモ彈藥食料運搬ニ概シテ便ヲ得タリ但シ行軍速度鈍レ負傷者ノ搬送ハ最も苦心セル處ニシテ急造擔架以外ニテ舟ヲ利用レ得ハ便ナルヘレ渡河材料トシテ梯子ノ携行ハ極メテ困難ナルノミナラス其ノ必要ナレ現地ニ於テ徴發レ得ル物料多シ(戸板、丸太、樋板等)又藁ヲ投入セハ渡河レ得ルモノアリ

升戸ハ各部落共ニ殆ントナレ、クリークノ水ヲ使用セリ。
瀘水器、升水車ノ如キハ上陸第一日残置ノ止ムナキ情况ナリキ。

1773

[illegible]

戰鬪參加將校同相當官職員表									
隊號	職官氏名								
第一大隊本部	大隊隊長 附官 步兵少佐 步兵中尉 主計中尉 軍醫中尉	大田根谷勇 日下健 淺野昌 館野	武陵太策 辰夫	岡部元三 井清三 北詰文太郎 園部英三	増井部 増井部 増井部 増井部	全小中 全小中 全小中 全小中	長長 長長 長長 長長		
第一中隊	步兵中尉 步兵少尉 步兵中尉 步兵少尉	岡部恒一 岡部恒一 岡部恒一 岡部恒一	房郎 房郎 房郎 房郎	荒川新一 荒川新一 荒川新一 荒川新一	全小中 全小中 全小中 全小中	長長 長長 長長 長長			
第二中隊	步兵中尉 步兵少尉 步兵中尉 步兵少尉	石川新一 石川新一 石川新一 石川新一	藏郎 藏郎 藏郎 藏郎	西澤辨 西澤辨 西澤辨 西澤辨	全小中 全小中 全小中 全小中	長長 長長 長長 長長			
第三中隊	步兵中尉 步兵少尉 步兵中尉 步兵少尉	増邊梅枝 増邊梅枝 増邊梅枝 増邊梅枝	吉藏 吉藏 吉藏 吉藏	渡邊紋 渡邊紋 渡邊紋 渡邊紋	全小中 全小中 全小中 全小中	長長 長長 長長 長長			
第一MG中隊	步兵中尉 步兵少尉 步兵中尉 步兵少尉	田部井英平 田部井英平 田部井英平 田部井英平	夫人 夫人 夫人 夫人	古口井 古口井 古口井 古口井	全小中 全小中 全小中 全小中	長長 長長 長長 長長			
聯隊MG隊	步兵中尉 步兵少尉 步兵中尉 步兵少尉	高山誠 高山誠 高山誠 高山誠	正作 正作 正作 正作	片山圖 片山圖 片山圖 片山圖	全小中 全小中 全小中 全小中	長長 長長 長長 長長			
(示隊々)	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六	備考六 備考六 備考六 備考六

考	備	員数	区分	種類	昭和十二年十一月十五日第一大隊鹵獲表	
					浮	戦利品
	戦場ニ敵ノ遺棄セル死体 100	8	校下士馬	銃砲		
		12	銃	砲		
		120	包實	彈砲		
			具器			
			秣糧			

考備	計	第一中隊	第二中隊	第三中隊	第四中隊	本部	昭和十二年十一月十五日第一大隊武器彈藥損耗表	
							隊分	種類
							銃小	彈藥
							銃機輕	武
							銃機	器
							砲歩射平	彈
							砲歩射曲	藥
							他其	失
							銃小	彈
							銃機輕	武
							銃機	器
							銃騎	彈
							砲歩射平	藥
							砲歩射曲	失
							銃小	彈
							銃機輕	武
							銃機	器
							砲歩射平	彈
							砲歩射曲	藥
							他其	失

野澤隊ノ指揮下ニ入り戦闘シタル部隊ノ經過概要

十一月十三日

一、十二日夜野澤部隊ノ指揮下ニ入り新倉鎮西方約二料
橋梁附近ニ於テ四里橋附近ノ敵ト近ク相對シ夜ヲ徹シ
シル第二中隊及MG之(僅見小隊)ハ十三日午前八時三十分
攻撃ヲ開始シ同日午後二時四里橋東北側集團部落
ヲ占領セリ、攻撃開始稍々前³⁴(加藤大貫兩小隊)恰戰場
ニ到着第二中隊³⁵右ニシテ協力奮闘セリ
夜ニ入りテ敵ハ益々兵力ヲ増加シ當面ノ兵力ハ重機一輕機
三迫撃砲一ヲ有スル約一ハマトナリ、大貫少尉ハ之ノ敵ヲ
力攻中午後七時頃戦死セリ
午後十一時携行彈藥ヲ調査セルニ殘彈欠クセルヲ知リ節
用ヲ命ス
各隊共ニ敵前四〇〇米ニ近接シ工事ヲナシ明拂曉攻撃

十一月十四日

十一月十五日

捕虜行動ヲ起シ午後五時廣陳鎮ニ於テ主力ニ連絡セリ
ム参加人員

第二中隊

將校以下

一七八五

第四隊二小隊

將校以下

八
四
名

第一MG小队

將校以下

二六名

射耗殫

小鏡

五四四

四里橋附近戰經圖要圖

